

★エコ×エネ体験ツアー 火力編 @磯子大学生ツアー 速報★

こんにちは！ちーぼーです。

以下の日程にて開催しましたエコ×エネ体験ツアー火力編磯子大学生ツアーについて、報告します！

日 程：平成28年2月24日（水）～26日（金） 2泊3日

参加者数：33人 プラス プログラムアドバイザー 1人 プラス取材1人

火力編@磯子大学生ツアー

1日目 10:20 帆船日本丸研修センター集合

当日は風が強く、どんよりと曇り、あいにくの天気でした（なんてたって、外に立っているちーぼーに見ず知らずのサラリーマンが“頑張れ”と声を掛けるレベル）。

しかし、しかし！とっても元気な学生さんが全国津々浦々、計25大学からやってきてくれました！

何と今回は直前キャンセルもなし！いつもこの時期はインフルエンザなどが流行っているので、欠席される方もいるのです。参加者の気合の入りようが伺えます。



○お迎えはキンちゃん&ちーぼー&いっきーです。



○プログラムが始まる前に顔写真の撮影。イワクニさんがぱしゃり！

1日目 10:30 オリエンテーション

いよいよ、火力編スタート！まずは主催者を代表して、我らがキャップからご挨拶。

続いてサイエンスカクテルのコテさんから、3日間を楽しく過ごすルールの説明がありました。



運営側の挨拶は終わりましたが、まだまだ知らない者同士。参加者の学生さんたちは緊張ぎみです。でもそんな空気を打ち破るのが、初対面の人と自然と仲良くなれる不思議な時間“共通点を見つけてみよう”！ペア、3人組、4人組…次第に大きくなる輪の中で、お互いの共通点を探すアイスブレイクです。「メガネ」「身長」「サークル」「テニス」「夏フェス」…やっているうちに親近感が！



○白いセーター！



○人数が増えるほど、ちょっとしたコツが必要になります。

【第1部 暮らしのエネルギーと社会のつながりを考えてみよう】

1日目 11:10 ワークショップ「エネルギーって○○」

オリエンテーションも終わり、緊張もとけたところで、プログラムスタート！
第1部は、暮らしのエネルギーと社会のつながりを考えるために、ワークショップ「エネルギーって○○」を実施しました。9枚の写真について、写真から得られた印象を班の中で話し合います。



○一つのものを見ていても、印象はそれぞれ。



○空きスペースにどんどん書きこんでいきます。

この9枚の写真から得られた印象をもとに、「エネルギーって〇〇」の〇〇の部分を考えます。
「成長中」「人次第」「不平等な富」…各班のセンスがきらりと光る〇〇が並びました。



○「変化するけどいつもある」「歴史があって、良いものと悪いものがある」という班も。

さてさて、腹が減ってはなんとやら、で食事タイム。先程までワークショップをやっていた班のまま、さらに懇親を深めます。

今日のお昼は横浜名物、崎陽軒の「シウマイ弁当」！

関東の学生は大喜び、それ以外の地域から来た学生さんたちはいまいちピンと来ていませんでしたが、食べて納得。大満足！



○美味しいご飯で思わず会話もすすみます。

お昼ご飯の後は、ワークショップ「暮らしのエネルギーと社会を描いてみよう」。
模造紙に書かれたお部屋の中に、生活に欠かせない・生活を彩る家電を設置します。
…なにそれ！一人暮らしシミュレーションみたい！



○慎重に必要なものだけにしているのが印象的。
私だったら「絶対、自動掃除機欲しい！」ってなるもの。

部屋の中を飛び出して、私たちの暮らしとエネルギーをつなげていきます。
「コンビニって24時間営業だし、売られているものはガソリンで運ばれてくるね」
「近くに自然が多いところがいいと思ったけど、森林も河川もエネルギーかも」
色々な意見や気づきが飛び出しました。



○信州の暮らしをイメージ。なんだか楽しそう！

全部の班の発表が終わり、続いてキャップから「エネルギー」について。
過去に起こったこと、エネルギーの今を取り巻く状況など、丁寧に話していきます。



○授業で習ったことがある話も、自分がワークショップを行ってからだストーンと落ちていきます。

【第2部 私たちの社会を支えるエネルギーの現場を体験しよう】

1日目 15:50 実験「火力発電の基本」と「石炭とJ-POWER」

キャンプのエネルギーの話の後は、エコ×エネ体験プロジェクト名物！ドクターの出番です。小学生が授業で使う手回し発電機を使って、電気が出来る仕組みを分かりやすく教えます。また、火力発電キットを使って明日行く磯子火力発電所を予習！
何だか笑っているうちに電気について詳しくなれる、そんな時間でした♪



○「驚き、感動、笑顔！」ドクターの実験はいつも、笑い声でいっぱい。



○ドクターを見ていると、教える・笑いっていうのも一つの才能なんだと思います。

次はキンちゃんがJ-POWERの概要、石炭火力の特徴、現状、課題と対策などを解説。



○あ、去年も出てきた石炭の隠しキャラだ！

1日目 16:20 KYワークショップ

明日行く磯子火力発電所は、電気をつくっている現場です。
現場に立ち入ったことのない参加者の皆さんにとって、未知の領域です。…こういうの、とっても危ない！
ただ、危ないものや場所を「危ない」と認識できていれば大丈夫！
ということで、発電所に行く班ごとに「KY（危険予知）ワークショップ」を行いました。



○どこに危険が隠れている？



○たくさんの目で見れば怖くない！

1日目 17:10 工場夜景クルーズ

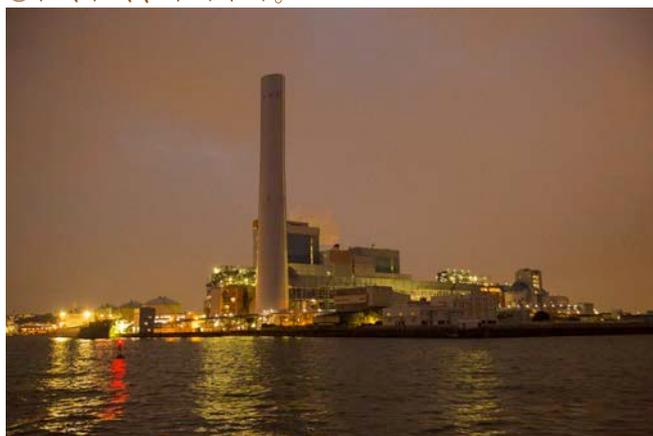
さあ、今回は復活しました！参加者から人気の工場夜景クルーズ！
…お遊びじゃないんですよ。電気が支える産業というものを、この目で確かめに行くのです。
研修センターからてくてく歩き、ぶかりさん橋からいざ出航！



○わくわく、ドキドキ。



○おおー！！



○これが明日行く磯子火力発電所。
働いています！



○夜、こんなに明かりがついているってことは、
それだけ働いている人がいるってことで。

1日目の締めくくりは、美味しいご飯と…ん？？なんだこの臭い？？



○正解は石炭。燃やすとこんな臭いがするのね。明日の磯子火力発電所ではどうでしょうか？

今日はゆっくり寝て、明日はいよいよ発電所に潜入だ！

2日目 8:00 上郷・森の家⇒磯子火力発電所

2日目は朝から磯子火力発電所へ移動です。
廃食油を回収・リサイクルした燃料100%で走る、通称『天ぷらバス』で移動します。
移動中に排出するCO₂を大幅に削減しています！



○今日の元気チェック！



○ついに磯子火力発電所へ！パステルカラー！

2日目 9:00 本日のオリエンテーション

まずはオリエンテーションということで、磯子火力発電所 PR 館「ISOGO エネルギープラザ」の浅野館長よりご挨拶。続いてガイドの社員の自己紹介を終えると、さっそく作業着に着替え、安全装備をつけることに。作業義なんて、J-POWER の社員になったみたい！



○「ようこそ！磯子火力発電所へ。安全に気をつけてしっかり見学して下さい」



○緊張の面持ち。若手社員がガイド役を務めます。



○あごひもまで、しっかり締めよう！

2日目 9:45 潜入！ISOGO スコープ

「潜入！ISOGO スコープ」は、普段は入れないディープなゾーンに潜入して、石炭火力における様々な環境負荷を減らす取り組みや最新技術と共に、そこで働く人の思いを感じとる特別なプログラムです。さあ、いよいよ発電所へ潜入スタート！



【第3部 体感したものを話し合って、自分なりに深めよう】

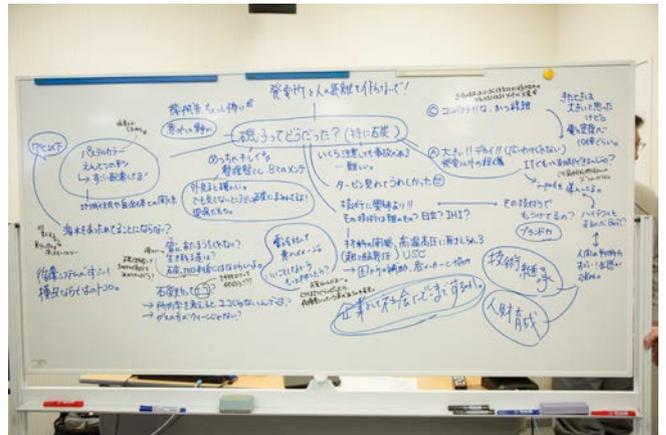
2日目 13:00 グループダイアログ&全体ダイアログ

ご飯を食べた後は発電所を見てきた感想やさらに気になったことなどを書き出します。最初は自分一人で、次にグループ全体で。黄色とピンクの付箋紙を使い、どんどん整理していきます。



○グループ内で似たものを集め、仕分けていきます。疑問点には時間の許す限り答えます。

全体のディスカッションは、みんなでまーい輪を作って行いました。
その名も、フィッシュボール（金魚鉢）。



○全員お話することは出来ませんでしたが、予定調和ではない率直な意見を聞く事ができました。

2日目 16:15 解説「クリーンコールテクノロジーを学ぼう」

さてさて、ディスカッションが終わったあとは、浅野館長より、磯子火力発電所の技術と環境配慮の説明。
小谷所長からの講評もありました。



最後はみんなで記念写真です。磯子火力発電所にもお別れ。ありがとうございました！



○はい、チーズ！！

2日目 19:20 ゲストトーク

宿泊先である上郷・森の家に戻り、今日の感想を一人一言。その名も、「ヒトコトタイム」！
思いを自分の中だけに留めておくのはもったいない！みんなでシェアしましょう。
その後は、待ちに待った晩ご飯！参加者の間にスタッフが座り、各テーブルの話題に花が咲きます。



○みんなで輪になって感想をシェア。



○なんだなんだ、楽しそうだな！

そして、そして…。



○今日は暖炉に火が…ありやりや、もくもくだ。

私、今回のツアーのハイライトはここだと断言します。
プログラムアドバイザーで参加された、九州大学原田先生のお話を聞きました。



○ゆかりんを聞き手に原田先生が語ります。

社会人として、電力の業界で働くものとして、身が引き締まる思いがしました。
常にチャレンジすること、専門分野以外も身に着けること、自分の足跡はしっかり残すこと…。
私と同様に参加した学生さんたちの心にもしっかりと刺さったことでしょう。



○その後もいろいろな大人を囲んで、盛り上がりました。

3日目 7:00 「この指と〜まれ！でこんなことしてみよう」

3日目の朝はフリープログラム。希望者をつのって自由なテーマで過ごそう！という企画です。テーマは、各スタッフが出して「ドクターから伝えたいこと（ドクター）」「将来なくなる職業のランキングをつくろう（サイエンスカクテル・ともやん）」などの案が出ていましたが、一番人気はオブザーバ、おのの（キープ協会、夏の奥只見編スタッフ）の「みんなでお散歩」でした。火力発電所とはうってかわって、自然の中で癒されます。



○すっごくたのしそう！



○自然からの素敵な贈り物。

【第4部私たちの社会づくりを考えて、自分たちのこれからを探ろう】

3日目 9:00 ワークショップ「エネルギー大臣になろう！」

最終日は、2日間のツアーの振り返りと、今後の自分たちの行動を考える「私たちの社会づくりを考えて、自分たちのこれからを探ろう」です。まず、ワークショップ「エネルギー大臣になろう！」を実施。今回は自分がやってみたい国を立候補制で、という初めてのスタイルで行いました。



○しっかり条件を読み込みます。



○大人チームも真剣です。



○むーん、悩む。



○結果はホワイトボードへ。



○神様、降臨。



○お、何かしらのガッツポーズが。

3日目 11:00 グループディスカッション「私たちが望むエネルギー、社会、生き方を語ろう」

ワークショップ「エネルギー大臣になろう！」の反省やグループで話し合った“エコ”、“エネ”“社会”“未来”について全体に発表し、参加者みんなで共有します。
発表に対して、質問も活発に行われ、他のグループの考え方に感心の声があがりました。



○進む、熱い思い！

3日目 13:30 全体ディスカッション+行動宣言「私たちの航海」

昼食は美味しいマグロの漬け丼！三崎港でとれた漬け丼は火力編の定番となりつつあります。うまー。グループワークの流れのまま、大学生全員参加の全体ディスカッションがスタート。さきほどのグループディスカッションのキーワードを受けて、自分の目標へ落とし込みます。



○昼休みの間に洗い出しをコテさんがしてくれました。



○目標を船型に切り抜いた紙に書きます。



○最後は、持続可能なエコ×エネ社会に関するキーワードを出し合いました。

最後にプログラムアドバイザー、オブザーバの3人から講評を頂き、
2016年「エコ×エネ体験ツアー火力編@磯子大学生ツアー」は無事！終了しました。
いろいろな人との出会いが、くっきりと記憶に残る春休みになったのではないのでしょうか？
みなさん、3日間本当にお疲れ様でした！！！！



○みなさん、またお会いできることを楽しみにしています！